

# 平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 30

評価2 ハード

## 1 事業名等(Plan 1)

事業名	橋りょう整備事業(耐震含む)											
所属名	基盤整備部 建設課 管理・用地グループ											
第七次総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	分野	3	道路・交通	基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する	施策	3	橋りょうの整備
予算科目	7	2	3	道路新設改良	費	72320	橋りょう耐震補強					事業
	7	2	3	道路新設改良	費	72336	石浦片野線道路改良					事業
					費							事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	合併まちづくり計画、道路橋梁整備計画(H17~H26)											
事業の実施主体	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 市以外→											
事業の実施方法	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 指定管理 <input type="radio"/> 業務委託 <input type="radio"/> 団体等補助 <input type="radio"/> その他→											

## 2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	地域住民及び橋りょう利用者。	受益者数	人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	地域間を結ぶ連絡道路として利用されているが、老朽化した橋梁の架け替えや、耐震補強を行い、利用者の快適性と安全性の向上を図る。		
概要	事業の実施手法、手順	地域間を結ぶ生活道路の確保に向け、橋梁整備を行う。		
概要	事業始期・終期	始期： H17 年度から 終期： H26 年度まで 設定なし		
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 延長の短い橋梁の安全性向上と景気浮揚に向け整備を行う。			

## 3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)		400,000	450,000	190,000	100,000	170,000	
総合計画計画額(計画額)		400,000	400,000	190,000	100,000	170,000	
財源	事業費	509,500	477,000	164,000			
	(計画・予算・見込・決算額)	決算・見込	452,250	276,846			
	国庫支出金	予算額			90,200		
		決算・見込	202,197	58,814			
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
繰入	予算額						
	決算・見込						
添架負担金	予算額						
	決算・見込	1,675					
一般財源	予算額	509,500	477,000	73,800			
	決算・見込	248,378	218,032				
H17国勢調査		96,231 人 32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価				
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費) 単位 %	-	-				
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口) 単位 円/人	4,700	2,877				
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯) 単位 円/世帯	14,056	8,605				
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標) 単位 円/人						
	↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出) 単位 円/人						

## (成果面)

活動・成果指標	活動指標	活動指標(投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)	指標名	橋梁整備数						資料・出展算出式	整備数 /	単位	橋
		活動	目標値	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	活動の方向		
	実績値	4	5	5	4	4	4	4					
	達成率	-	-	0	0	0	0	0					
成果指標	成果指標	成果指標(活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標)	指標名							資料・出展算出式		単位	
		成果	目標値	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	成果の方向		
	実績値	-	-										
	達成率	-	-										

## 3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	詳細設計等 N=13件 用地購入 A=863㎡ 建物等補償 N=8件 工事 N=13件	729,096 千円
	事業費	(内容) 工事 554,603 千円 用地補償 90,647 千円 その他 83,846 千円	
	受益者負担	(内容)	
本年度	対象・手段	詳細設計 N=5件 電気通信補償 N=1件 工事 N=5件	164,000 千円
	事業費	(内容) 工事 135,000 千円 委託 27,000 千円 その他 2,000 千円	
	受益者負担	(内容)	

## 4 分析・評価(Check)

**①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)**

(現状及び判定理由) 第七次総合計画に位置づけられており、今後も実施する必要性が高い。

判定	目的評価
A:非常に高い	<b>A</b>
B:高い	
C:低い	
D:非常に低い	

---

**②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)**

該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

減少	維持	1	増加
(判定理由) H20.21の事業費はほぼ横ばいで推移している。今後橋りょう長寿命化修繕計画に基づいた整備が必要である。			

③成果面	増加	維持	減少
拡大		○	
維持			
減少			

コスト・成果ポジション

**B**

**第2水準**

---

**③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)**

該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

拡大	1	維持	減少
(判定理由) 橋りょうの老朽化が進むなか、架替事業費は多額で予算確保に苦慮している現状であるため、橋りょうの長寿命化にむけた整備により安全性の向上と予算の平準化を図る。			

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

## 5 今後の方向性(Action)

**評価結果に対する改善提案(下記チェック)**

計画どおり実施  改善・継続  終期設定  休止  廃止  完了

橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、整備計画の策定を行う。

**次年度実施方針**

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき円滑に整備事業を進める。

**総合評価**

コスト	中	成果	中	評価区分	III
-----	---	----	---	------	-----

「II」以上の水準に向けた改善が必要

老朽化が進行している橋梁が多数ある中、橋梁整備の手法等を考えていく必要がある。  
今年度策定の橋梁長寿命化計画において、安全性、ライフサイクルコスト等を考慮しながら、橋梁毎の整備方法を決定し、事業の推進を図る必要がある。